

農水OBだより

1 | 15 2023年1月号

第503号(改題403号)

発行所

農林水産省退職者の会
〒112-0012 東京都文京区大塚3丁目28-7

林野会館内

電話 03(3508)4351

FAX 03(3508)4351

E-mail: nousuitaisyokusya@zennorin.jp

郵便振替 (00170-3-25178)

昭和54年6月1日第3種郵便物認可

定価 年間700円(送料込)

奇数月の15日発行

定価 年間700円(購読料・送料は会費に含まれる)



今年もよろしく
お願いいたします。

謹賀新年

会員の皆様、「OBだより」を愛読していただき大変ありがとうございます。

本年も親しみのある紙面作りに心がけますので、よろしくお願いたします。

さて、この度は全農林仙台分会から「片瀬海岸からの富士山」、同愛媛分会から「干支の藁アート」を提供していただきました。



愛媛県西予市宇和町・「干支藁アート」

新年のあいさつ



農林水産省退職者の会 会長 白須 敏朗

年頭あいさつ

新年、明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、会員ならびにご家族の皆様にご挨拶申し上げます。

二〇〇〇年春より続く新型コロナウイルス感染症は、今なお私たちの日常生活はもとより、当会の組織運営にも多大な影響を与えています。昨秋からはインフルエンザも相まって引き続き不安の日々が続きますが、感染予防など健康管理に気をつけてお過ごし頂くようお願いいたします。

さて、我が国は、超少子・高齢化が進展するなか長期に

及ぶデフレ経済により格差と貧困が拡大しています。同時に、コロナ禍にともない弱い立場である非正規労働者や女性などへのセーフティネットの脆弱性が露呈するなかで、エネルギー価格の高騰や急激な円安などによる物価高が市民生活に深刻な影響を与えています。

これらの状況を克服し、持続可能な社会・経済を実現するには、緊急かつ的確な経済対策に加え、経済再生と国民生活の安心・安定に繋がる環境整備への重点的な配分、さらには再配分を可能とする公平・公正・納得の税制確立が

極めて重要となっています。

一方、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、世界平和の秩序を乱すと同時に、食料やエネルギー問題をはじめとした各国の安全保障のあり方を問うこととなりました。我が国においては、現政府による軍備増強方針と原子力エネルギー政策の転換などが、十分な検証と議論が行われな

はもとより世界の平和に向けたリーダーシップを発揮することが何よりも重要と考えます。

また、経済連携や貿易協定により農林水産物の市場化が急速に進展するなか、食料安全保障の確立や地域経済の活性化が急務となっています。二〇年が経過した「食料・農業・農村基本法」の見直し議論が行われていますが、安心・安全な食料の自給と確保は必須であり、持続可能な農林水産業の確立に向けた、真摯で建設的な議論を期待するものです。

このような情勢の中で、私たち退職者の会は各種制度・

政策の実現、さらには「安心で豊かな福祉社会」に向け、引き続き退職者連合に結集して取り組むと同時に、自らも主体性を持って運動を前進していかなければなりません。

そのためには、組織の強化・拡大や自立した組織運営の確立に向け、現職の皆さんと連携した積極的な取組が重要です。引き続きコロナ禍の厳しい環境ではありますが、会員の皆さんの英知と行動力を結集し、様々な課題に向き合い乗り越えていきたいと思います。結び、皆様のご健勝・ご多幸を願って新年のごあいさつとします。

新年ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には元気に新年を迎えられたことと思います。新型コロナウイルスパンデミックから3年が経過しましたが、今なお感染拡大が続いていることから、健康第一、生命第一にこの一年を乗り切っていきましょう。

超高齢化社会に対応した社会保障制度改革が喫緊の課題となる中、岸田政権は全世代型社会保障会議を立ち上げ、制度見直しの議論を加速させています。退職者連合は、給付の抑制と自己負担増には反対であり、すべての国民が安心して暮らすことの出来る社会保障制度改革に向けて取り組みます。

また、ロシアによるウクライナ侵攻では、核兵器問題がクローズアップされていますが、私たちは核兵器の使用は全体に認められません。唯一の被爆国である日本は早期に核兵器禁止条約を批准し、世界的平和に向けた歩みを続けることが必要です。

地球温暖化阻止の取り組み、ジェンダー平等の推進、多様性を尊重する社会の実現を目指すと共に、高齢者をはじめ全ての人が、地域で豊かに安心して暮らせる社会を目指し取り組みを強化しましょう。

皆様のご健勝、ご活躍を祈念して新年のあいさつとします。



日本退職者連合
会長 人見 一夫

「お達者だより」

金婚記念に鉄道で日本一周

島根県出雲市 布野 勉さん

私は平成15年3月に当時の島根統計情報事務所を定年退職し、「島根農林統計協会」と「島根県農林水産省退職者の会」の事務局を8年間担当させていただきました。

勤務40年間には全農林の諸役員も経験し、「行政改革・定員削減反対」の厳しい戦いを長い間経験してきました。

大病を乗り越え、記念事業を

また、これまでの半生には、脳動脈瘤による開頭手術をはじめ両眼の網膜剥離、大腸穿孔手術など生死をさまよう幾



鹿児島経由で九州一周

多の大病を経験しましたが、無事乗り越えてきました。

職場を定年退職した折には、小学校の頃から書き続けてきた日記をもとに自分の半生を自分史「幾山河」(230頁)としてとりまとめ、また、深田久弥の「日本百名山」に挑戦、五木寛之の「百寺巡礼」など、人生の節々で自分なりに様々な記念事業に取り組み、東奔西走してきました。

金婚祈念に日本一周

退職後20年を得て、昨年は無事金婚の年を迎えることが



日本最北端の地



自分史「幾山河」

出来ました。

金婚の記念行事を考えていましたが、たまたま読んだ西村京太郎の「日本一周旅号殺人事件」にヒントを得て、夫婦で日本一周旅行を計画しました。しかし、折からのコロナ感染拡大で実行を懸念していました。しかし、折からのコロナ禍が一段落し、行動制限解除を機に記念事業として「鉄道日本一周7千キロ一筆描き」を無事決行することができました。

人生百年時代と言われるなかにあって、残る余生は心静かに終活に入りたいと思っています。

現在の心境を一句に託して

「幾山河 超えて金婚の
笑いじわ」

都道府県会長通信

今回は東北ブロック宮城県退職者の会 斎藤会長からお便りを頂きました。高齢者が不安なく暮らすことが出来るよう、会の目的に沿った活動は不可欠。飲んで語らうことも必要です。(コロナの早期終息を願いつつ)

宮城県退職者の会 会長 斎藤 武 寛

出身は宮藤官九郎と同郷の宮城県栗原市

私は、1945年【昭和20年】に宮城県栗原市の農家に生まれ2022年(令和2年)10月で喜寿(77歳)迎えました。

1964年(昭和39年)宮城食糧事務所本所に採用され、管内の支所・出張所を経て再度本所勤務の後、支所管理職在職中に本所



栗駒山 遠景

幹部養生研修、食糧庁、宇都宮事務所、東北農政局新潟農政事務所を最後に2006年(平成18年)3月で定年退職を迎えました。その後、物流会社に再就職し8年間勤めました。一方、全農林には入所と同時に組合員となり地域の仲間と活動に参加しました。しかし、当時は組合役員になり手が無い時代で、地元支所への転勤時にいきなり分会書記長に推挙されたのが転機となり東北各地の役員を経験し、東北各県の多くの仲間と交流し合ったことが私の財産となっていました。(管理職として勤務したときに組合経験が役にになりました)また、関東地区に



「みちのく会」で(中央が筆者)

勤務していた時に東北各県出身の方々と年1回懇親会(みちのく会)に参加し懇親を深めたことが良い思い出となっています。

9年間の民生委員

地域の世話役を嘱望され第二の職場の時、市から民生委員に委嘱され9年間地域のお世話をしました。

とくに、2011年(平成23年)3月の東日本大震災では、地域住民の安否確認、停電により電気釜が使用できずガス釜による炊き出し、高齢者等へのおにぎり配等々被災者の支援に努めたことが思い出されます。

今、続いて発生する巨大地震(北海道、東北三陸沖)に備えを言われていますが、日頃から災害に向き合う心構えを持つことが大事と思っています。

米作りを担い手に、今思うこと

増える耕作放棄地を嘆き、勤務の傍ら栗駒山のふもとで代々生業にしてきたコメ「ひとめぼれ」作りに励んでいましたが、喜寿を機に米作りは担い手に委託しています。畑は誰も受け手が無く自ら耕作し農作業に悪戦苦闘しています。今は耕作放棄地の増加等から猪、タヌキ、キツネ、ハクビシン等獣の住みかとなり野菜畑が被害にあっています。私どもの地域も人口減少や高齢化により受けての無い農地は耕作放棄となっています。

今、ロシアによるウクライナへの侵略によりエネルギー、穀物など供給が不安定になり世界的に多くの人が食料不安に苦しんでいます。

ます。防衛費予算の大幅な増額が叫ばれています。命の糧となる食料安全保障については議論が深まらず、農水省の予算は減額傾向が続いている状況に危機感をもっています。食料供給が不足し国民の命が守れるか心配しています。

宮城県退職者の会の現状

宮城県退職者の会は、昨年(2022年)で結成48年を迎えました。結成当時は300名を超える会員が現職時代を引き継ぐ形で交流・親睦を深め、総会の懇親会では現職当時を思い出し一晩中語り合い、退職を迎える方々への加入の声掛けを担っていたことが思い出されます。

翻って、2010年9月に自主運営体制に移行した時点では、280名を数えていた会員数が2022年7月の総会時には110名に減少し、かつ平均年齢78歳という現状です。幹事会として、退職予定者や広



県総会の様子(コロナ以前)

域人事により県外勤務の後
に退職し地元に戻ってきた
方々への加入呼びかけを行
っています。
また、全農林仙台分会が
毎年開催している「シニア
セミナー」に出席し、活動
状況等を説明しつつ加入の
要請を行っているところで
す。近年、社会状況の変化
や個の有り様が多様化し、
会の加入を躊躇される傾向
をなしとしません。粘り強
く加入要請の取り組みを行
う以外に特効薬はないのか
など自問する毎日です。

退職者の会の活動は自らの 生活不安解消の一助

高齢社会と言われている

中で、年金支給額は年々引
き下げられ、後期高齢者医
療制度では自己負担2割へ
の改悪など、高齢者には厳
しい見直しが矢継ぎ早に行
われ生活不安をきたしてい
ます。
高齢者が不安なく暮らせ
るためにも制度の改善が喫
緊の課題です。個々の力で
は解決しない問題でもあり
会の目的に沿った活動は不
可欠です。
**会長就任は退職者の会の仕
上げ(エピソード)**
会の運営に関わり全農林
東北地方本部執行委員当時
は退職者の会の事務局を担
当し、退職後は幹事や副会
長を担っていました。両
親の介護のため4年ほど休
んでいました。しかし、先
輩会長や長年事務局を担っ
ている後輩に、居酒屋で宮
城の珍珠「ほや」を肴に地酒
「栗駒山」を飲むほどに説得
が巧妙になり、お開きには
会長を快諾することになり
ました。役員の選考にはこ
れは不可欠と思われれます。

文芸コーナー

※投稿から若干時間が経過したものあり季節感と
合わない場合もありますが、ご理解頂きたくよろ
しくお願ひします。

「詩」 これからの命

埼玉県熊谷市 萩原光之

何年ぶり
いや何十年ぶりになるだろうか
こんな近くで
赤ん坊の泣き声を聞けるのは
生まれて半年くらいだろうか
手足をばたつかせ
力いっぱい泣いているのだろう
布団の上で泣く事で
自分を主張しているのだろう
なんだか少しづつ
泣き声も大きくなってくるようだ
顔もますます赤くなっていくのだろう
私は庭仕事を止めて
赤ん坊に応援したくなっている
ガンバレ
もつとガンバレ
小さなからだから
声を絞りだして
体が震えるほどガンバレ
慌てて飛んで来る様な
新米お母さんだろうか
それとももう少し泣かせておいて
お腹をすかせてから
おっぱいをあげようか
そんなベテランのお母さんだろうか
私の家の少し裏に
若い夫婦が越してきたのです
まだ赤ん坊の顔も
見たことも無いけれど
いつも応援してますからね

長い旅

茨城県つくば市 飯田 茂

浮世に生まれ落ちて
長い旅が始まる
やっと二本の足で歩める
でこぼこだったり
泥道だったり
曲がりくねったり
長い坂道を登るように

分身のかけろくに気づかず
どこかで蜚気楼をみたように
空想はどこまでも広がった
成功への道標はあったのだろうか
かなわぬ夢をみていたのかもしれない
今となつては幻想だったのかもしれない

ゆく先はみえない
運命なんて信じるものではない
一言の弁明を許さぬほどに
恥というものを知らされもせず
希望という応援者とともに
二本の足では歩けなくなつても
ゆく先を探しにいくだろう

「短歌」

関門海峡 潮入れ替わる とどろきに
初日は昇る 夢かがやかせ

福岡県福津市 佐々木 和彦

もう幾つ 寝ると来るかと 歌いしが
今は昔を かえり夢みる

福岡県福井市 山田 良彦

皆既月食 惑星コラボ
まさに奇跡の 天体ロマン
聖夜にも ロケット砲の 飛び交へり
日本の平和 憲法9条

茨城県水戸市 栗田 修治

「俳句」

ウサギ小屋と 呼ばれし住い、今昔
夜学子の 帰途の語らい 開放感

東京都大田区 浜中 明子

立山が 部屋から見える 白化粧
初春の 有磯海に 日の出かな

※絵はがきもありがとう
ございました。

富山県砺波市 西田 豊二

雪中の 赤い山茶花 艶やかに
芽え芽えと 凍てつく山野 寒の月

島根県出雲市 石橋 厚

砲弾の 飛び交う方位 冬の月
茨城県水戸市 栗田 修治

「川柳」

領収書 内容白紙で 通る国

※我々平民は理解できません
オンラインピック どこまで続く

疑惑の巢

※指導者・選手が可哀相
北海道函館市 谷目 弘二

石あたま 形状記憶で
すぐ戻る

二階まで 階段急ぎ

はて何を

福井県福井市 山田 良彦

寒さより 灯油の減りが
身に染みる

※コロナが心配で、おちおち
風邪も引かれない。

コロナ禍で 孫の名前が
浮かばない

※あれ、どっちだったかな…?
北海道札幌市 成田 晃

じいちゃんは 孫との相撲
まだ負けぬ

島根県出雲市 石橋 厚

円安で 値上げ値上げで
音を上げた

良識と 知生がさげぶ 反戦を
北海道釧路市 落合 行仁

事務局からのお知らせ

会員の皆様には、OBだよりの発行にご協力頂いて
いること感謝申し上げます。
事務局では、「お達者だより」「近況報告」「俳句」「短歌」
「川柳」「詩」をはじめ地域の行事なども募集しています。
次回は3月15日号ですので、寄稿等ありましたら2
月下旬を目途に送付いただければ幸いです。よろしく
お願いします。

応募要領

《正解者には抽選で粗品を進呈》

- ◆ 応募方法：ハガキに「郵便番号・住所、お名前、答え」を記入し応募願います。
- ◆ あて先：〒112-0012 東京都文京区大塚三丁目28-7 林野会館内 農林水産省退職者の会
- ◆ 留意事項：他の記載はしないでください。
- ◆ 締切：2月28日(火)消印有効



四字熟語リレーパズル

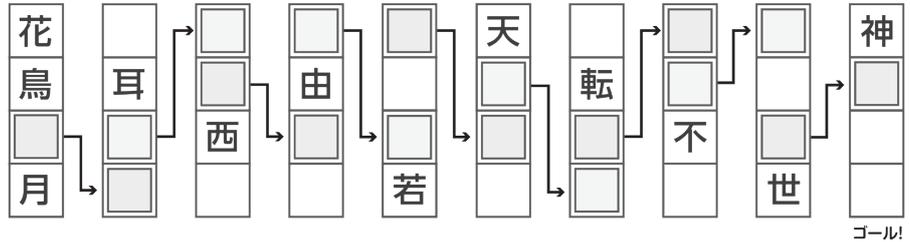


漢字リスト

立 没 長 然 急 自 東
奔 直 平 風 出 動 泰
鬼 馬 下 放 寿 身 走

リストの文字を使って、四字熟語リレーを完成させてください。
矢印の先には同じ漢字が入ります。最後にリストに残った漢字を使ってできる縁起のいい言葉はなんでしょう?

スタート!



ゴール!

編集後記

▼会員の皆さん、今年もよろしくお願
いします。この三年同じリリースになりま
すが、引き続きコロナ禍にあつて、インフ
ルエンザも流行しています。このことから
感染症予防に心がけてお元気で過ごされ
ることを願っています。▼今年卯年、六十
支の「癸卯」にあたり「癸」は十干順の最後
一つの物事が取まり次に移行する段階、ま
た「卯」のうさぎは「茂」という時期「繁
殖する」「増える」という段階で、その両
方を備えた「癸卯」は、様々なことの区切
りがつき、次へと向かう年にあたるとい
います。明るい世界が広がっていく一年にな
ることを期待したいです。▼さて、施行から
二〇年が経過した「食料農業農村基本法」
の見直しに向けた検討が具体化していま
す。コロナ禍やウクライナ問題等、食料を
巡る国際的環境の変化に対応した食料安
全保障を確立することを目的に、本年六
月を目前に中間とりまとめを行い、以降
二四年通常国会での成立を視野に法案準
備が進められることとなります。▼食料安
全保障の確立は極めて重要です。ただ、
食料自給率向上を掲げた現行法の下、五
年毎の基本計画を踏まえた農政の十分な
点検・総括がしっかりと行われているのか
気になります。また、見直しによって我が
国の農業・農村社会が将来にわたって安
定的に維持されなければ本末転倒です。今
後は、その動向を注視していかなければな
りません。▼超少子高齢化が進行する中で
社会保障制度の抜本見直しが進められる
など、今年には国のあり方や私たちの生活
にとつて重要な一年になります。干支にあ
り、飛躍「跳躍」の年になることを
切に願うものです。
(柴山)